院長先生はもちろん、スタッフさん、ケアマネさんなど是非ご参加ください!

兵庫県保険医協会 北阪神支部 研究会のご案内

患者さんの経済的負担軽減のために! 知って得する 医療・福祉の役立つ制度

時 3月23日(土) 午後3時~5時 日

場 宝塚商工会議所 多目的ホール

(宝塚市栄町2丁目1-2 ソリオ2(6階) TEL: 0797-83-2211)

師 神戸女子大学 講師 阿江 善春 先生

参加費無料

「窓口負担が心配で受診を控えている」「障害者手帳の申請はどこに相談したらい いの」といった患者さんの声を耳にしたことはありませんか。医療費や介護サービス 利用料の負担が軽減されたり、手当が受けられる公的制度について、患者さんに的確 なアドバイスが出来ることは、患者さんの生命と健康を守るために重要であることは もちろん、医療機関に対する信頼にもつながります。また、医療・福祉制度の仕組み についての知識は、医療機関だけでなく、地域の医療・介護を担う各職種の方々にも 必要とされています。

今回は、医療・福祉制度の充実に尽力されている阿江先生に、医療機関で知ってお きたい医療・福祉制度のポイントについてお話しいただきます。院長先生はもちろん スタッフの方々もぜひご参加下さい。

*お問い合わせは、兵庫県保険医協会事務局☎078-393-1805 有本、小川まで

— 切り取らずにこのままFAX して下さい —

【3/23 研究会「知って得する医療・福祉の役立つ制度」】

参加申込書 FAX 078-393-1802 兵庫県保険医協会 有本宛

氏石		耿悝	氏石	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
地区	市	医療機関名		
TEL –	_			

兵庫県保険医協会

2019年2月25日号 No.291

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部

〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31 ☎ (078) 393-1801 FAX (078) 393-1802

http://www.hhk.jp/

新春政策研究会「医師の働き方改革」

医療費拡充は 長時間労働解消の要

支部は、1月19日に恒例の新春政策研究会をいた みホールで開催し、5人が参加した。「医師の働き方 改革」をテーマに西山裕康先生(協会理事長)が講 演した。

西山先生は、厚生労働省の「医師の働き方改革に関 する検討会」のとりまとめ骨子案などを紹介し、時 間外労働が過労死ラインを大きく超過し、自分の健 康状態に不安を抱え、自殺や死まで考える病院勤務 医も少なくないという長時間労働の実態を指摘した。

同検討会では、2024年以降の時間外労働の時間数 について、年960時間を上限水準とすることが提案の引き上げが重要だと訴えた



されているが、地域医療提供体制の確保の観点から水準を超えざるを得ない医療機関に対し ては「地域医療確保暫定特例水準」を設け、年1900~2000時間までの時間外労働を勤務 医に課すことが可能になる案が提出されていることを紹介。西山先生は、医師は特殊な人間 ではなく、一般労働者の倍以上の労働時間を容認するのは看過できないと訴えた。

また、医師は自らの使命感に加えて医師法上の「応召義務」が課せられおり、患者の求め を最優先するため過重労働につながってきたと指摘し、「医師の倫理感や時代遅れの応召義 務により、医師個人に長時間労働を求めることは妥当ではない」と訴えた。

最後に、医師の心身の健康、地域医療の充実、健全な病院経営を守るためには、医師数の 増員と人員確保のための診療報酬の引き上げなど医療費の拡充が重要であるとした。

参加者からは、 $(60 \sim 70 歳代でも当直する医師もいると聞く。現場の実態は深刻だ」な$ どの感想が寄せられた。

宝塚社保協自治体キャラバン

自治体は国の施策の防波堤に



実を訴えた

支部も参加する社会保障をよくする宝 塚の会(宝塚社保協)は、1月21日に宝 塚市役所で対市交渉(自治体キャラバン) を開催。脇野耕一副支部長(宝塚社保協 副会長)ら23人が参加し、国保、介護、 生活保護等、市の社会保障施策の充実を 求め、宝塚市担当者らと意見を交換した。

県下で3番目に高額な国民健康保険税 について、社保協側は2017年度収支が -----脇野副支部長(左から2人目)が社会保障施策の充 黒字になっていると指摘し、保険税の引 き下げを求めた。市の担当者は「給付の

伸び率が予想より低かったため黒字になったが、被保険者の高齢化や所得が少ない傾向にあ るため財政は厳しい。現段階では引き下げるとも引き上げるとも明言できない」とした。

また、保険料の滞納による差し押さえの金額が増加しており、学資保険や給与などの差し 押さえは中止すべきと追及したが、担当者は「問題のない範囲で実施している」という認識 を示した。

第7期介護保険事業計画に基づく市独自の介護事業について、介護サービスからの「卒業」 を迫ることのないよう求めると、市側は「卒業ありきではない」と説明した。また、ヘルパー の確保について、市側からは新たに創設された、ホームヘルパー資格を持たない人を対象と する「生活支援ヘルパー」の講習会には7人しか参加がなく、修了しても就職を希望しない 場合もあるため、今後もヘルパー不足が懸念されるとの認識を示した。

事前の要望書への回答で、「生活保護のしおりを窓口に常設することは考えていない」と したことについて、法的根拠を求めたが明確な回答は得られなかった。社保協からは、申請 を遠ざけるような対応はやめるよう改めて改善を要望した。

その他にも、ワクチン助成の拡大や高齢者向けタクシーチケットの拡充などについて要望 した。参加者からは、「自治体は国の施策の防波堤となる役割を持っている。市民の声にもっ と耳を傾けてほしい」など呼びかけた。

兵庫県保険医協会のホームページは

http://www.hhk.jp/

* 生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、生活を支える共済制度のご紹介、日々 の協会活動報告を掲載しております。ぜひご覧ください!



幹事会だより

第378回 2月16日(土)箕面文化・交流センター 参加5人

◆北阪神支部の会員数と組織率

2/1 現在 医科 345 人 (75%)、歯科 194 人 (59%)

◆情勢と医療運動対策

後期高齢者の窓口負担原則1割を求める請願運動や「みんなでストップ!患者負 担増し署名の取り組みについて議論した。

◆当面の支部活動

知って得する医療・介護の役立つ制度学習会

日 時 3月23日(土) 15時~17時

会 場 宝塚商工会議所 多目的ホール

講 師 神戸女子大学講師 阿江善春先生

参加費 無料

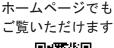
◆次回幹事会

3月14日(木)18時~ いたみホール会議室3

お問い合わせは 2078-393-1805 有本・小川まで

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451





<2 月のテーマ>

火曜日 スポーツで歯を失わないために 火曜日 サプリメントの利用法

水曜日 足のしびれ~坐骨神経障害~

木曜日 大腸の病気と生活習慣

金土日 子どものアトピー性皮膚炎と食事 金土日 白内障の手術

* 11 日(月・祝)は金土日のテーマを放送

<3 月のテーマ>

月曜日 糖尿病による目の病気 (網膜症) のはなし 月曜日 子どもの予防接種のタイミング

水曜日 アンチェイジングでなく「ヘルシーエイジング」を!

木曜日 鼻血が出たら

* 21 日 (木・祝) は水曜日のテーマを放送します。



☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail arimoto@doc-net.or.jp 担当;有本まで